

一応供覧	文書類	保存 年限	1 3 5 10 永
議長 	局長 	書記 	主任 担当

山田

1号様式

令和8年7月6日

津南町議会議長 風巻 光明 様

議席番号 3 番

議会議員 村山 郁夫 

一般質問の通告について

令和8年7月22日開会の第2回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1, 水田用水の渇水対策について	今回は水田渇水対策と周産期医療・津南病院経営改善計画について質問する。 (1) 近年大谷内ダムの渇水傾向が顕著であることに加え、今年は中子灌漑ため池の湧水量減少による大規模な作付け不能地が発生した。情報によると今年の中子ため池の渇水例は新潟県内で他になく、町独自の現象であるが、県による調査等が行われると聞いている。この内容について伺う。 (2) 水不足を乗り切るためにハード整備ではなく、水田の水利用の工夫を行うソフト事業を展開することを提言したい。以下の見解を伺う。 ①作付け前の圃場管理の工夫として代播時及び移植床を落ち着かせるための過剰	町長



※質問項目が変わる場合は罫線で分割してください。

2号様式

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
	湛水 ②稲の生理生態に合わせた「メリハリ型 間断灌漑（AWD）」の制度化 ③パイプライン給水での「無駄水（オー バーフロー）」の徹底管理 ④水位センサー連動型「自動給水弁」の 導入補助 ⑤「浅水代かき」の指導 ⑥中干しの前倒しと期間延長 ⑦穂ばらみ期（最重要期）へのピンポイ ント通水 ⑧農家の行動変容を促す関係機関一体と なった指導体制の構築	
2、医療・病院につ いて	（1）産科・周産期医療対策について ①地域で出産を扱える医療機関がないこ とは大きな不安を抱えているなかで、国 が2026年3月策定した地域医療構想ガ イドラインに沿って2028年度の「新た な地域医療構想」策定が県や地域医療構 想調整会で現在進行しているものと了知 している。 については、魚沼圏域見直し方針に「豪雪 地・過疎地における周産期医療へのアク セス確保に関する特記事項」を明記させ るべく、魚沼基幹病院と十日町病院や津 南病院・医院が強固に連携し、「妊婦検	町長

	診は地元で、分娩は基幹病院で、緊急時は移動型周産期ドクターカーで即座に繋げる」という広域ネットワーク型の周産期医療モデルを構想の中に位置付けるよう強く働きかけるべきと考えるがどうか伺う。 ②当面の間、登録制により妊産婦の救急車での搬送を考えているとのことであるが、現在どの程度までの進捗状況であるのか伺う。 (2) 津南病院経営改善について ①町長は「病院への操出金は3億円に抑えることができれば維持できる」と述べてきた。この根拠についてどのような試算であるのか伺う。 ②介護医療院開設がもたらす経営改善効果について設置ベッド数、診療報酬・介護報酬、人件費について試算している事項を明示されたい。 ③介護医療は町だけの問題ではなく、近隣地域の共通の課題であるが、そのニーズ調査をすることで最大限の経営改善効果が出せるよう計画すべきと考えるがどうか伺う。	
--	--	--

項目が変わる場合は野線で分割してください。